

渓流域におけるオオクチバス当歳魚の初期生態

梅田和貴（滋賀県立大学）

オオクチバス *Micropterus salmoides* はサンフィッシュ科に属する北アメリカ原産の淡水魚である。本種は赤星鉄馬によって 1925 年に神奈川県芦ノ湖に放流された。これが本種の日本への最初の移入であり、現在では本邦の全都道府県において本種の生息が報告されている。滋賀県犬上郡多賀町の犬上ダムでも本種が生息している。犬上ダムにはダム湖に流入する河川があり、2007 年の調査では、その河川において本種の当歳魚が確認された。犬上ダムには、アユやアマゴといった渓流域に生息する魚類も生息しており、オオクチバスによる影響が懸念される。

本邦の湖沼や河川におけるオオクチバス当歳魚の食性については研究されている。しかし、渓流域など河川上流域における本種当歳魚の食性については明らかにされていない。

本研究では、犬上ダムに流入する河川においてオオクチバス当歳魚を捕獲し、解剖することによって、渓流域における本種当歳魚の食性について明らかにすることを目的とする。

調査は 2008 年の 7 月から 10 月まで、犬上ダム湖内およびダム湖に流入する河川で行った。シュノーケリングによる目視観察をし、確認されたオオクチバス当歳魚をタモ網で捕獲した。捕獲した個体は、消化が進むのを防ぐために現地にホルマリン固定した。後日解剖を行い、胃内容物を観察した。